

1 単元名 脇田川の魅力を伝えよう

2 単元の目標

- ・脇田川の環境について理解し、学校の人たちに伝わりやすいように発表資料やポスターにまとめることができる。 (知識・技能)
- ・実際の川の写真や自分の経験や見て聞いたことから課題を見だし、脇田川の生態系や活用法を考えたり、考えたことや学んだことを発表資料やポスターを通して他の人に分かりやすく伝えたりすることができる。 (思考力・判断力・表現力等)
- ・脇田川を綺麗に保ちたいという目的意識を持ち、意欲的に脇田川について調べたり、話を聞いたり観察していくことを通して地域のためにできることを考えて積極的に関わろうとしている。 (主体的に学習に取り組む態度)

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、第3学年の総合的な学習の時間で学校の周りについて調べる中で出てきた、児童らにとって身近な「脇田川」に焦点を当てた教材である。また、実際に環境のことを考えた活動を通して自分たちにも地域のためできることや発信する大切さに気付くことをねらいとしている。

脇田川に行き、どんな生き物や植物がいるのか学ぶことで脇田川の水質や生物、第3学年次に学習した内容と結び付けていくことで脇田川への理解や課題への意欲を高めていく中で自分たちの住んでいる町に興味・関心を持ち、愛着を持つことができると考える。また、脇田川の生態系について学んだり感じたりしたことをまとめて考えを共有したり発表したりする活動を通して、まとめるスキルやコミュニケーションスキルの向上も図ることができる。

(2) 児童観

本学級の児童は、第3学年において、地域の昔と今を発信する活動してきている。脇田川について校区内探検の一環として赴き、昆虫を採集する活動を行っている。都市部のため海がすぐ近くでない環境ではあるが、川という自然環境が自分たちのすぐ近くにあることは理解している。

また、理科の学習では、植物の発芽と成長や流れる水のはたらきについても学習する。脇田川に生息する植物がどのようにして育っているのかや脇田川のはたらきなどについて考える際に理科の学習を生かすことができることから、本課題を取り上げる意義は大きい。

(3) 指導観

本単元の指導にあたっては、まず「脇田川の魅力とは」の発問から、それ時点で児童一人一人が考える脇田川の魅力を考える。第3学年次に脇田川について調べたことにふれ、脇田川について改めて知るために脇田川へ行き、そこにいる生き物や植物を観察する。事前にどんな生き物や植物がいるのかを予想させ、調査への見通しをもたせたい。

活動を通して脇田川のような多様な生態系が存在する環境が身近にあることの素晴らしさや生態系を壊さないために水をきれいに保つことの大切さに気付かせたい。

(4) ESDとの関連

・ 本学習で働かせるESDの視点（見方・考え方）

相互性…現在の海の環境は将来の海と繋がっており，自分や家族が年老いた時に，環境が改善されないままになっている可能性があるということ。

公平性…自分たちの世代の人々だけが快適に過ごせるだけでなく，未来の人々のことを考えることが大切だということ。

責任性…地域の人々や学校の仲間たちとともに活動を続けていくことが大切であるということ。

・ 本学習で育てたい資質・能力・コミュニケーション力

システムズ・シンキング

脇田川の生態系や水の大切さについて意見交流を通して自分の考えを持つ。

長期的思考力

今の海の環境だけでなく，これからの海の環境について考える力を養う。

協働的問題解決力

クラスの友達と協力し，それぞれの観察結果や考えたことを比較し，意見を交流することで解決していく。

・ 本学習で変容を促すESDの価値観

世代間の公正

自分たちだけでなく将来の人たちも安心して過ごせるまちづくりが大切。

自然環境・生態系の保全を重視する

自分たちだけが快適な地域ではなく，環境と共に生活していくことができるように努める必要がある。

・ 達成が期待されるSDGs

1 1 住み続けられるまちづくりを

1 4 海の豊かさを守ろう

4. 単元の評価規準

ア 知識・技能	イ 思考・判断・表現	ウ 主体的に学習に取り組む態度
①脇田川の環境や現状について理解している。 ②聞いたり，調べたり観察したりして分かったことを言葉や表を用いてまとめる技能を身に付けている。	①身近な海から課題を発見し，これからの海を守るための方策を考えている。 ②調査し自分の言葉でまとめ，表現している。	①実際に生育することを通して，自分にできることを模索しようとしている。 ②脇田川の生態系について学んだことについて学校の人たちに知ってもらうために発信しようとしている。

5. 単元の指導計画（全 20 時間）

次	主な学習活動	学習への支援（・）	評価 備考
1	<p>○脇田川の魅力を予想する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な川。 ・いろんな植物がありそう。 ・いろんな生き物がいるそう。 ・川の水は綺麗な。 ・どこに続いているんだろう。 ・川場所によって生き物は違うかもしれないよ。 <p>○脇田川について調べる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昔は、流れる水が農業や生活排水に利用されていたみたいだよ。 ・ヤマセミやヤマガラなど普段は見ることのできない鳥が見られるんだって。 ・下流に行くと、コイやボラもいるみたいだよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・第3学年の総合的な学習の時間で脇田川について調べた内容を振り返り、改めて脇田川の魅力を考えさせる。 ・インターネットで脇田川の生態系について調べる。 	イ②
2 ～ 5	<p>○実際に脇田川へ行ってみる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ヤマセミやヤマガラなど初めて見る鳥がいたよ。 ・下流に行くと、コイやボラもいたね。 ・植物も家や学校の近くにはないものがあったよ。 <p>○自分が発信したい内容を考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水がきれいだったから脇田川の水について発信したいな。 ・鳥や虫などたくさんいたから生き物について発信しようかな。 ・もう一度行って発信する内容について調査したいな。 ・脇田川はどこへつながっているのだろう。 <p>○改めて脇田川へ行ってみる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・生き物や植物を写真にとり、記録しておく。 ・アマモについての基本的な情報を調べさせる。 	ア①②イ ①

<p>6 ～ 12</p>	<p>○生態調査をして分かったことを話し合 う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見たことがない魚を見ることができた。 ・水が綺麗だったよ。 ・水質は、どうやったら分かるのかな。 ・汚い水のままだと生き物は生きていけな いんじゃないかな。 <p>○自分が発信したい脇田川の魅力をまとめ る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・理科の学習での知識をもと に、生物がなぜ生きている ことができるのか考えさせ る。 ・ペアやグループで話し合い、脇 田川の魅力について考えを深 め、自分が発信したい情報を まとめさせる。 	<p>ア② イ② ウ②</p>
<p>13 ～ 20</p>	<p>○脇田川の魅力を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポスターを作って学校のみannaにも知っ てもらおう。 ・学校のみannaが知ってくれるような発表 をしよう。 ・お家の人たちにも発表しよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの学習をもとに自分 たちができることはないかと 考えさせるようにする。 ・どうしたら他の人たちに伝 えられるかを考えさせ、発 表や資料を工夫させる。 ・学校だけでなく、保護者や 地域の方々へも伝えること で脇田川の魅力が未来へつ ながることを 	<p>ア② イ② ウ②</p>